

24. 亜硫酸糊剤の乳白歯への誤った使用が引き起こしたと思われる障害症例

○中野育子, 浜野良彦

(九大・歯・小児歯)

心身及び歯牙ともに成長過程にある小児患者において、亜硫酸糊剤を使用した場合、周囲組織への為害作用が強く現われ、時に後継永久歯胚の壊死を招来することが指摘されている。しかし亜硫酸失活法は手軽であるため、今なお一部で使用されているようである。

今回、亜硫酸の乳白歯への誤った使用が、原因したと思われる障害症例に遭遇したので報告する。

25. Maple Syrup Urine Diseaseに関する口腔領域所見について

○永井真弓, 丸田恭嗣, 小椋 正

(鹿大・歯・小児歯)

Maple Syrup Urine Disease は、常染色体劣性遺伝によりロイシン・イソロイシン・バリン等の α -ケトン酸代謝産物の酸化脱カルボキシル化不全が生じることによって、尿がカエデシロップに似た特有の臭いを生ずる疾病である。しかし、この疾病の歯科的報告がないので発表者らは、鹿児島大学歯学部附属病院小児歯科外来を訪れた患児について、口腔症状を中心に診査所見を報告する。